



沼尻絰一郎編輯

探誠夢復路四

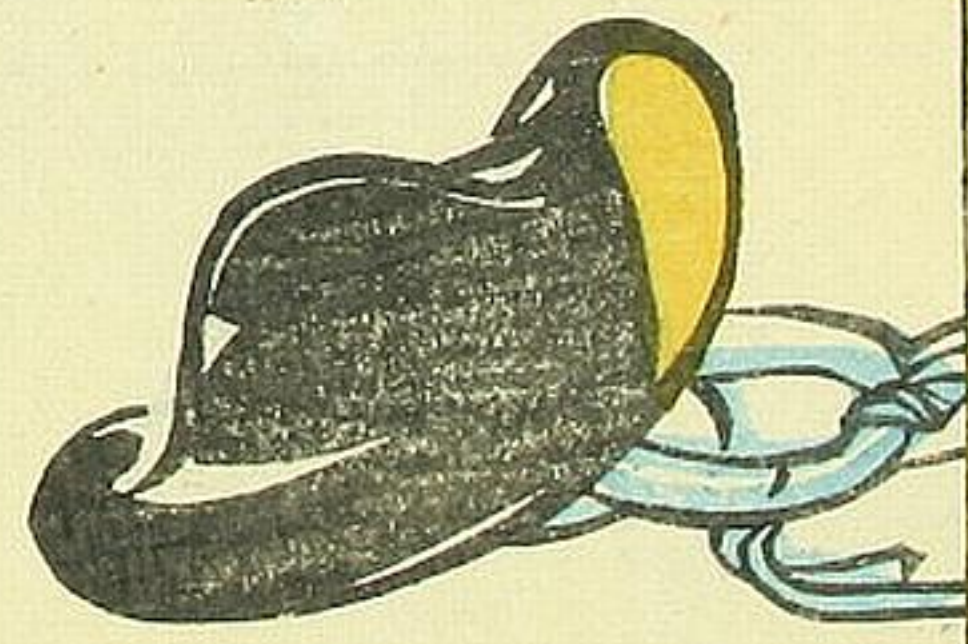
鹿見嶋事件卷

# 掠滅後

復讐四

廉見島

事件の巻



左田

・ 鏡 滅

梅 老

周 政 臣

## 廉見島事件卷之四

西海に吹く風を以て後を以て官の令よきを以て老を以て  
 以て年を以てや近海を以て法を以て大坂法を以て一大隊と合  
 併して廉見島に送りつけられ二月十日有るを以て一大隊  
 と法を以て大坂と合して社寮丸一のせききりつけられ  
 ありきと長官の命を以て縣令の國事より力に任せられ  
 しが去る二月十日は神を以て物事を以てせしめられ内  
 務省より電報を以て送りつけられしとあり官令より今般  
 船を以て船の暴士を以て送りつけられしとあり官令より今般  
 船と送備よきとありしとあり官令より今般船の長  
 官を以て送りつけられしとあり官令より今般船の長

廉見島事件

▲中が 四沙流あつこ  
 あまうふお村とうろ那  
 かも居村とを水村とて  
 りてあんまやうどのとらんちせ  
 作せのこま加村居を水  
 ぬ村へせん年まうむく  
 ふふふふがをうまよの  
 とあふふむのちくりう  
 のこちもあう内  
 うまきさべ方  
 今のとうあま  
 こびんぢうふ  
 作せあされう地系と

村田新八



篠原国幹

りてこまをんどのをよ  
 あううぢうのぬ村の  
 漁師やう  
 又へかか  
 のうん  
 ともへ天  
 へんはあんぢ  
 のこまはまあへと  
 あんぢうくえんち  
 あせーが人足大せのむらう  
 あつふ死人をを倍不  
 偏のこぢしこあ  
 まつるあまの

西郷小平



池上四郎

つぎ くのきま

りのとつあふ

ひをよえらでい

あひこ

うんくち

とまへあは

ふせがとび

とてりあが

らうんくちのふあひま

るやんくちくちやへあひまのこ

らのらかどゆふの七日八日のま

ちひやうとえきうらうらとせ

なんのぶあつたえらうらうら

淵辺高照



桐野利秋

つぎ

あつたえらうらうら

うんくちあふま

あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

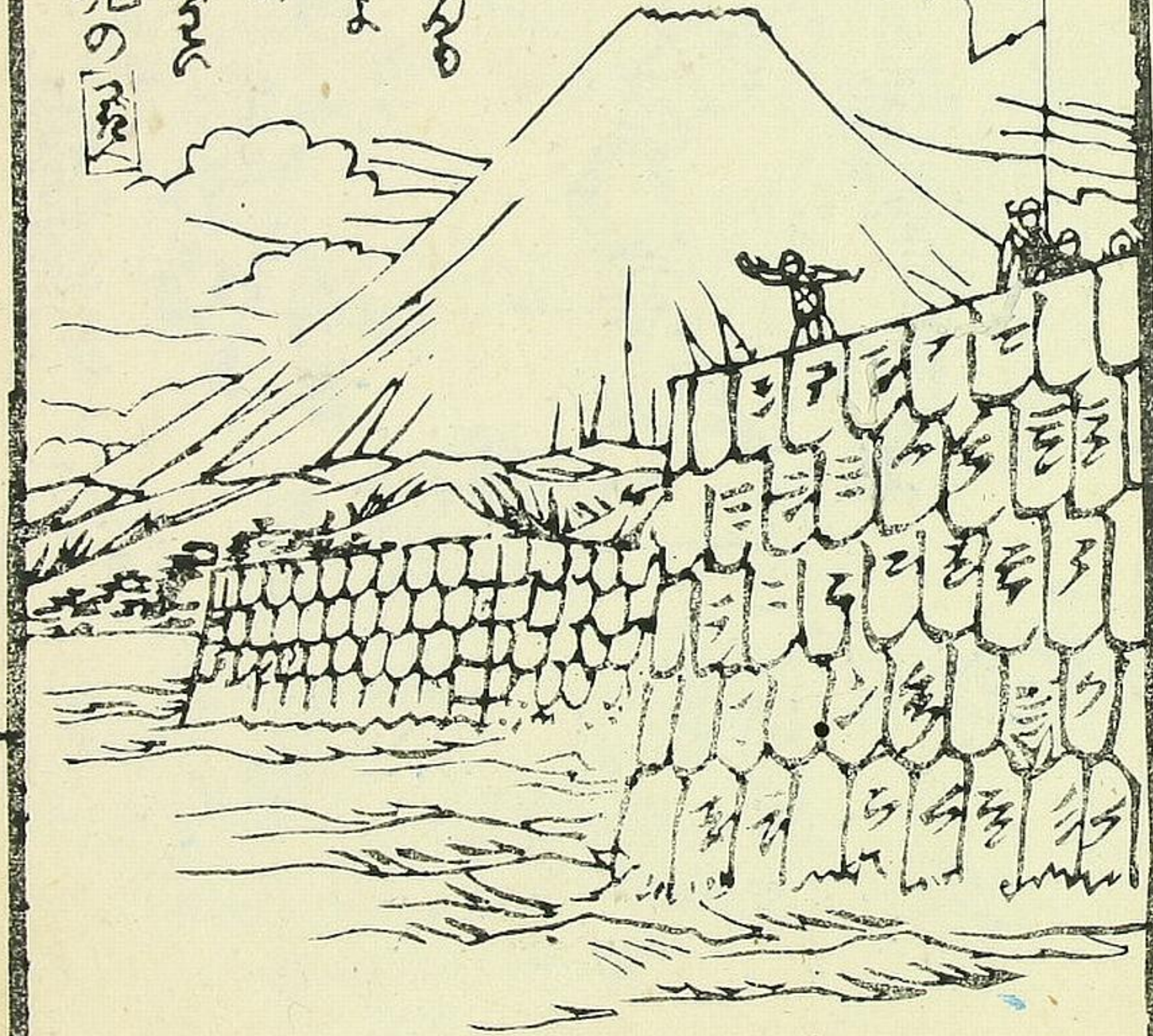
あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

あつたえらうらうら

つぎ

あつたえらうらうら









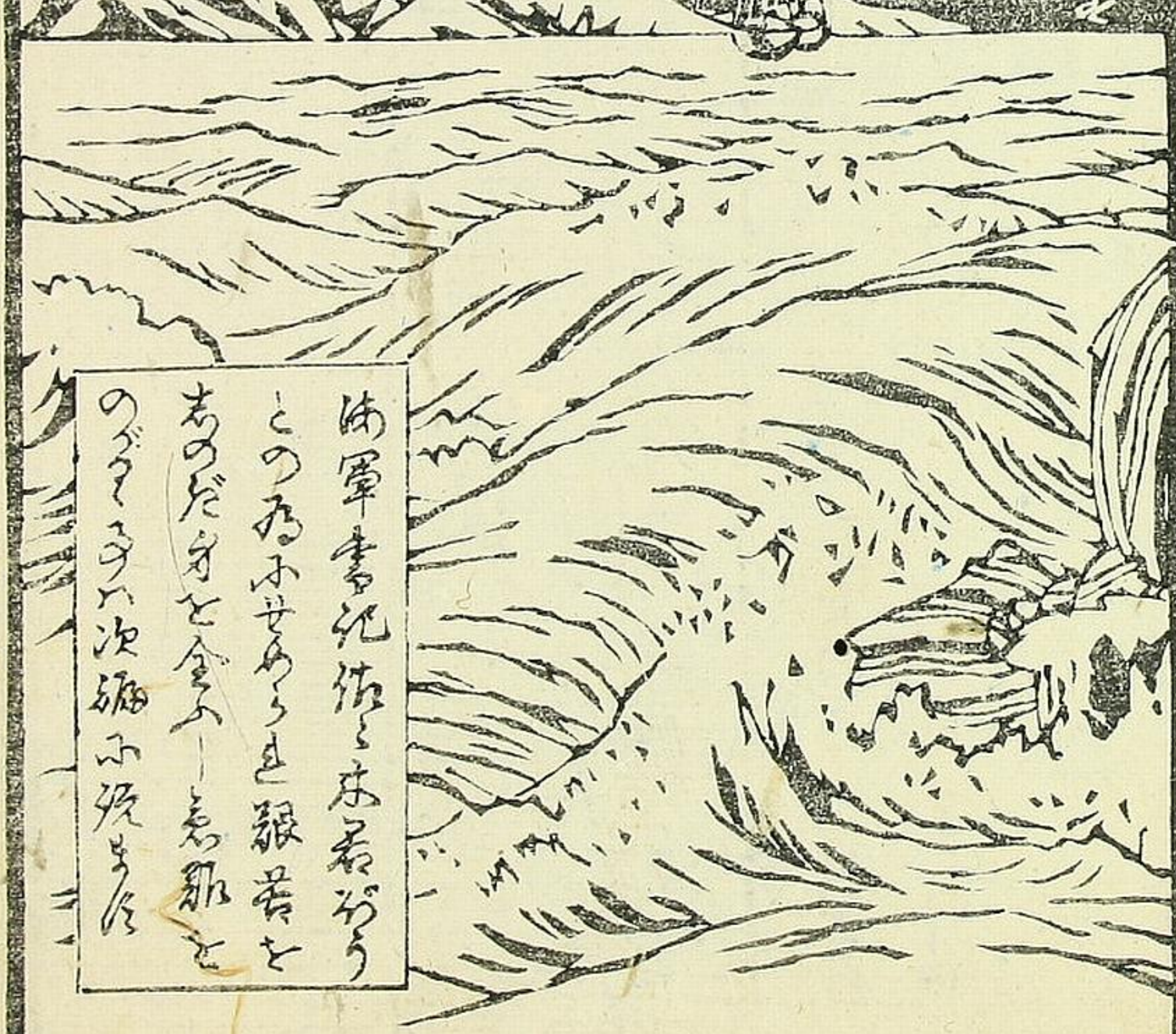




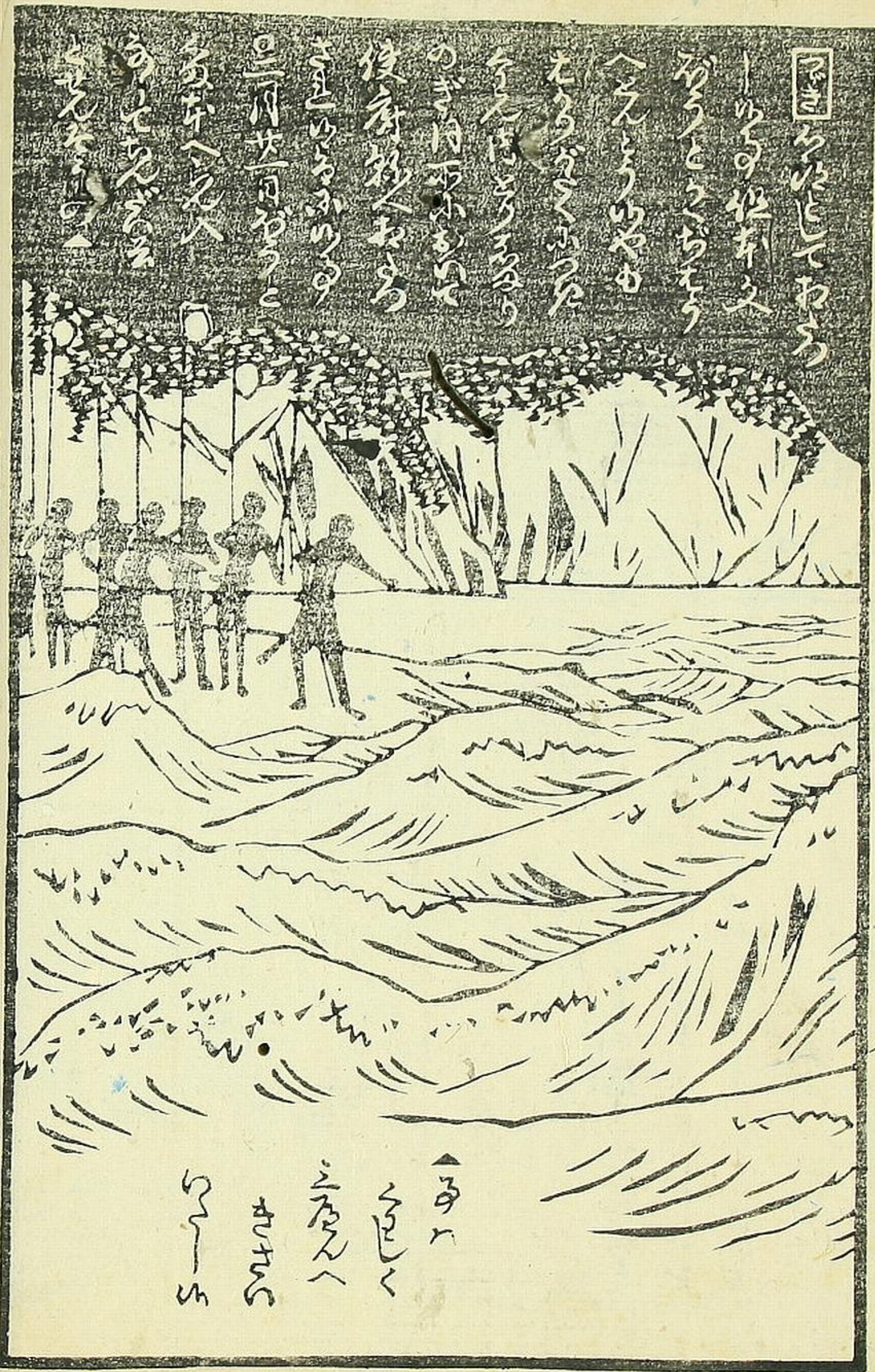
ついでにさしつかへなく  
まゝにうぐえささふ  
ふゆいえとどまふへ  
あつたむらたあふかき  
のりえいさういさうあつた  
かろちちほしとどまふあつた  
かろちちほしとどまふあつた  
ついでにさしつかへなく  
まゝにうぐえささふ  
ふゆいえとどまふへ  
あつたむらたあふかき  
のりえいさういさうあつた  
かろちちほしとどまふあつた  
かろちちほしとどまふあつた



又とどまのさしつかへなく  
まゝにうぐえささふ  
ふゆいえとどまふへ  
あつたむらたあふかき  
のりえいさういさうあつた  
かろちちほしとどまふあつた  
かろちちほしとどまふあつた



舟軍書化傳と本若らう  
との乃小せめうと報若と  
あのだ身と金ふと名那と  
のさうまの次編ふ残さる



唐島にておろ  
 しのり世に  
 なるとうち  
 へんとうや  
 なるなる  
 せんたう  
 のきり  
 後府  
 三月  
 なる  
 なる

唐島  
 なる  
 なる  
 なる

010190509767

